

# しが「読み解く力」～実践編～ 【小学校 社会科】

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



## 【小学校：社会科】

「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる  
「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりのポイント

◇社会的な見方・考え方を働かせながら、課題について考えたことを根拠をもとに説明したり、立場を明確にして議論したりできるように工夫しているか。

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



## 単元名 「廃棄物を処理する事業」(小学校第4学年)

廃棄物を処理する事業について、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、**廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業の果たす役割を考え、表現することを通して、**廃棄物を処理する事業は、**衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に地域社会の一員として自分たちが協力できることを考えようとする態度を養う。**



- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ

## 第1次【学習問題をつかむ】

- ①家や学校等から出るたくさんのごみのゆくえについて話し合い，学習問題をつくる。
- ②学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立てる。

## 第2次【学習問題を追究する】

- ③・④清掃工場が燃えるごみを処理する様子を見学・調査したり各種資料を活用したりして調べる。
- ⑤リサイクルセンターが燃えないごみや資源ごみ，粗大ごみを再利用する様子を各種資料で調べる。
- ⑥これまで調べてきたことをまとめ，さらに調べるべきことについて話し合う。
- ⑦市（区町村）がごみ処理問題を計画的に解決している様子を調査したり各種資料を活用したりして調べる。

## 第3次【まとめる】

- ⑧学習問題について話し合い，ごみを処理する事業の果たす役割について考える。
- ⑨学習問題について調べたことや話し合ったことに基づいて，ごみ処理の仕組みや経路，人々の協力関係などについて図や文にまとめる。
- ⑩これまでの学習を踏まえて、ごみを減らすために自分たちにできることについて考えをまとめる。

【本時】



- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ

これまでの学習から、ごみを減らすために自分たちに協力できることは何かを考えることができる。





- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 **本時の流れ**
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ

## (1) 課題を見つける

これまでの学習を振り返り、自分たちができることについて考えることを確認する。

## (2) 見通しをもつ

ごみを減らすために自分たちができることは何か考える。

課題発見・解決のプロセス    課題を見つける ≧ 見通しをもつ ≧ 自分で考える ≧ 共に学び合う ≧ 学習をまとめる ≧ 学習を振り返る ≧ 新たな課題を見つける

### (3) 共に学び合う

根拠をもとに説明し合う。

### (4) 学習をまとめる

ごみを減らすために自分たちができることについて、考えをまとめる。

課題発見・解決のプロセス 課題を見つける ≧ 見通しをもつ ≧ 自分で考える ≧ 共に学び合う ≧ 学習をまとめる ≧ 学習を振り返る ≧ 新たな課題を見つける



- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



- ・ 立場を明確にして、ごみを減らすための呼びかけをしている理由を説明する姿。  
(A②・B②)
- ・ ごみを減らすために自分たちにできることは何かを考える姿。  
(A③・B③)



- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ

- これまでの学習を振り返り、自分たちにできることについて考えることを確認する。



授業や見学時の資料など、もう一度見直してみよう！

これまで調べてきた内容や資料を根拠に、目的意識をもって、分析・整理！



市役所の広報誌に、ごみを出す日がわかりやすく示されていたね。

リサイクルがごみを減らすことに役立っていることがわかったよ。



・ 根拠をもとに説明し合う。



呼びかけをしている市役所など、立場を明確にしよう！



立場を明確にし、  
根拠をもとに説明！



わたしが住んでいる町では、ごみステーションの看板で呼びかけをしているわ。



呼びかけをしている理由がわかると、ごみに対する考え方が変わるなあ。



- ・ ごみを減らすために自分たちができることは何か、を具体的に考える。



自分たちができることをできるだけ、具体的に考えよう！

学校・家庭・地域など具体的な取組場面をイメージ！

〇〇さんのやり方もいいけれど、わたしは買い物用袋を持ち歩くようにしよう！

これからは、家のごみの分別に協力していこう！





- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ

## 【本時で身に付けたい資質・能力】

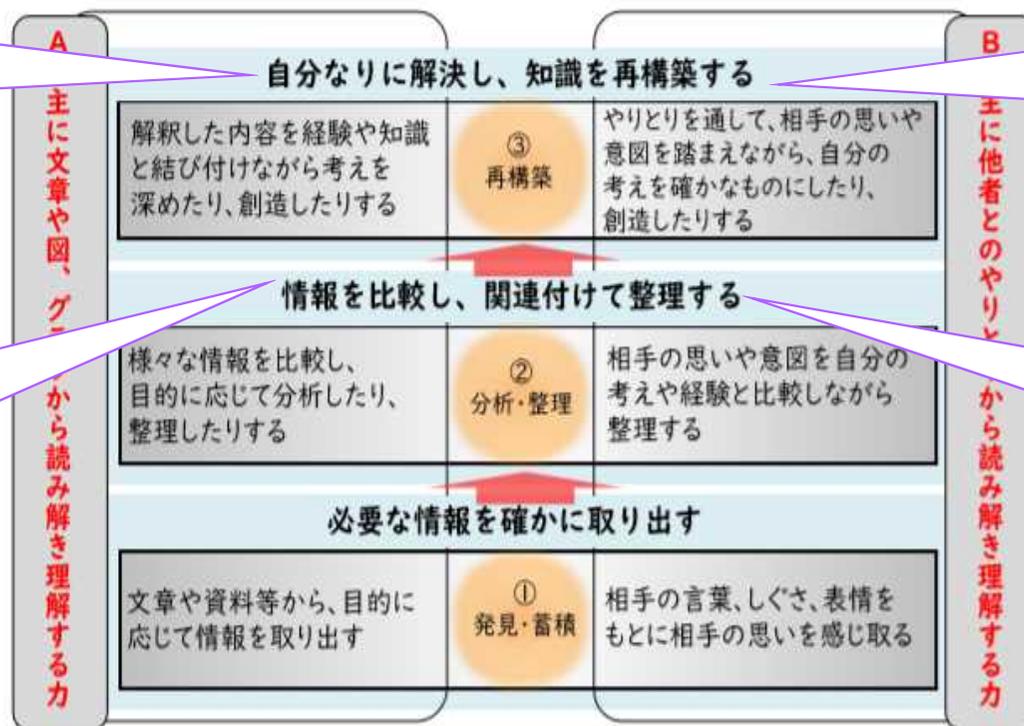
様々な立場からごみを減らすための呼びかけをしていることについて考え、ごみを減らすために自分たちに協力できることは何か考えることができる。

今回学んだことを意識して、ごみを減らすために自分たちも協力していこう。

リサイクルセンターの立場で考えると、実際に呼びかけている取組が大切なんだと気が付いた。

みんなの発表を聞いているいろいろな協力の仕方がわかったけど、まずは自分から始めることから始めてみよう。

様々な立場で、ごみを減らすための努力をしていることがわかった。



目的意識